

保証書

商品名	ブリリアント ワイン・Sake サーバー ☐ 2 本用 (WS2) ☐ 4 本用 (WS4)
お客様名	
ご住所	〒 ー -----
TEL	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日から 1 年間
販売店	
印 又は サイン	TEL ー ー

この製品は厳密な品質管理のもとで製品検査に合格したものです。お客様の正常な使用状態において万一故障した場合には、無償修理規定 (P.19 参照) に基づきサービスセンターが修理いたしますので本書を提示してください。
本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
保証書にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
なお、本書はワインや日本酒、その他製品内に設置した飲料の補償など、製品故障以外の一切の責任を保証するものではありません。



飲酒は20歳を過ぎてから。
飲酒運転は法律で禁止されています。
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の
発育に悪影響を与えるおそれがあります。
お酒はなによりも適量です。



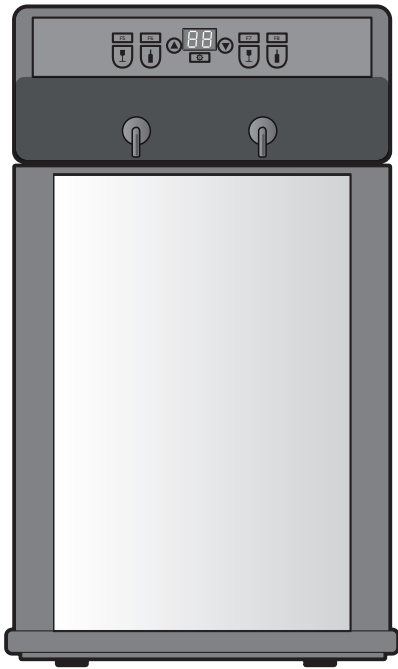
本社 / 〒550-0005 大阪市西区西本町 1-5-3 扶桑ビル
TEL/0570-00-9686 <https://www.globalwine.co.jp>



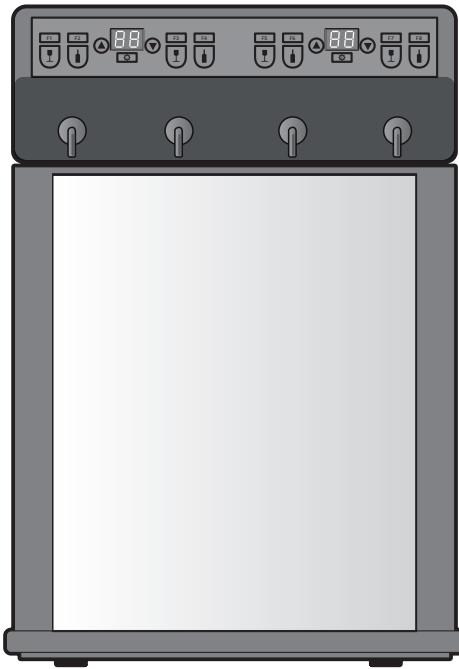
取扱説明書

ブリリアント ワイン・Sake サーバー

WS2 / WS4



2 本用 (WS2)



4 本用 (WS4)

- この取扱説明書をよくお読み頂き、ご理解頂くまでは据え付けたり、運転したり、整備しないでください。
- 仕様は製品改良のため予告無く変更する事があります。
- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ販売店より発行される、お買い上げ日・販売店名が記載されたレシートや納品書等の書類と一緒に保管ください。
- この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY
- この製品は、国内 AC100V 専用です。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

安全上のご注意は15ページ
以降にまとめてあります。
ご使用前によくお読みの上
正しくお使いください。

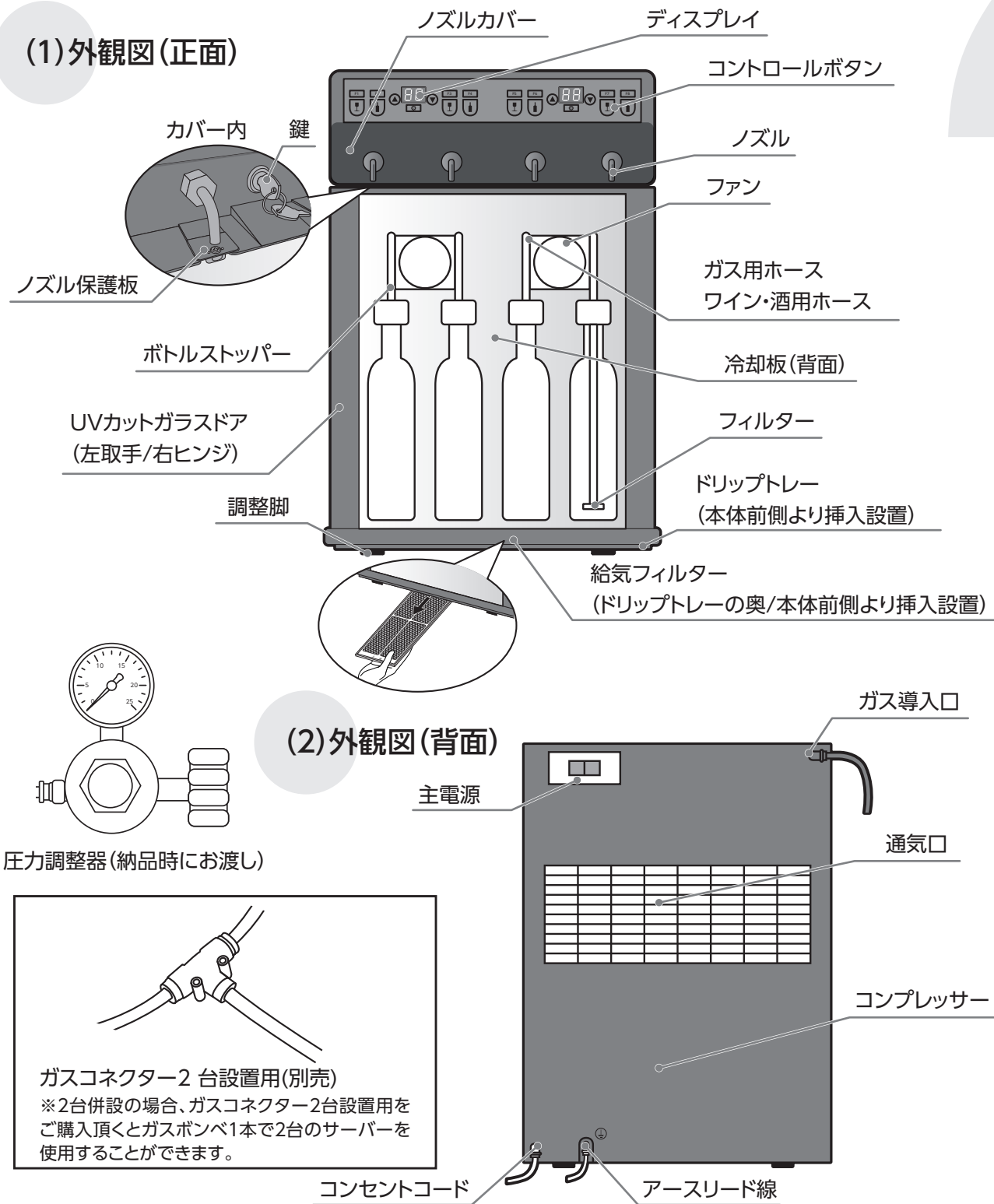
 **ご注意** サーバーの誤った使用又は故障により、ワイン等その他の飲料の変質が生じても保障致しませんので、運転状態や庫内温度には充分ご注意ください。

1. 製品の仕様	P.1
2. 各部の名称	P.2
3. お使いになる前に	P.3
4. コントロールボタンの使用方法	P.5
5. 窒素 / アルゴンガスボンベ取り付け・ボトル交換	P.9
6. 長く使っていただくために	P.11
7. 扉のロック方法 / ノズルカバーの脱着	P.13
8. 故障かな?と思ったら	P.14
9. 安全上のご注意	P.15
10. 保証とアフターサービス	P.19

製品の仕様

製品名		ブリリアント ワイン・Sake サーバー 2 本用	ブリリアント ワイン・Sake サーバー 4 本用
型 番		WS2	WS4
寸 法	外形寸法 (mm)	幅 300× 奥行 490× 高さ 642 (ドリップトレイ設置時)	幅 415× 奥行 490× 高さ 642 (ドリップトレイ設置時)
	設置必要寸法 (mm)	幅 400× 奥行 525× 高さ 742	幅 515× 奥行 525× 高さ 742
設定可能温度帯 (※条件)		5℃～18℃ ※外気温 25℃の場合	
製品重量		28kg	35kg
電 気 特 性	定格電圧	100V	
	周波数	50/60Hz	
	消費電力	(最小) 175/(最大) 210W	
冷 却 装 置	冷却方式	コンプレッサー	
	冷 媒	R-134a	
ボトル収納本数		2 本	4 本
ボトル設置箇所		2 箇所	4 箇所

各部の名称



ブリリアント ワイン・Sakeサーバー2本用/4本用に同封しているもの
☐ 取扱説明書(本書) ☐ ガス用ホース ☐ ドリップトレイ ☐ 鍵2本 ☐ 扉ロック用の板

※本体及び同封備品の形状や仕様は変更になる場合がございます。

3 お使いになる前に

2本用 (WS2)

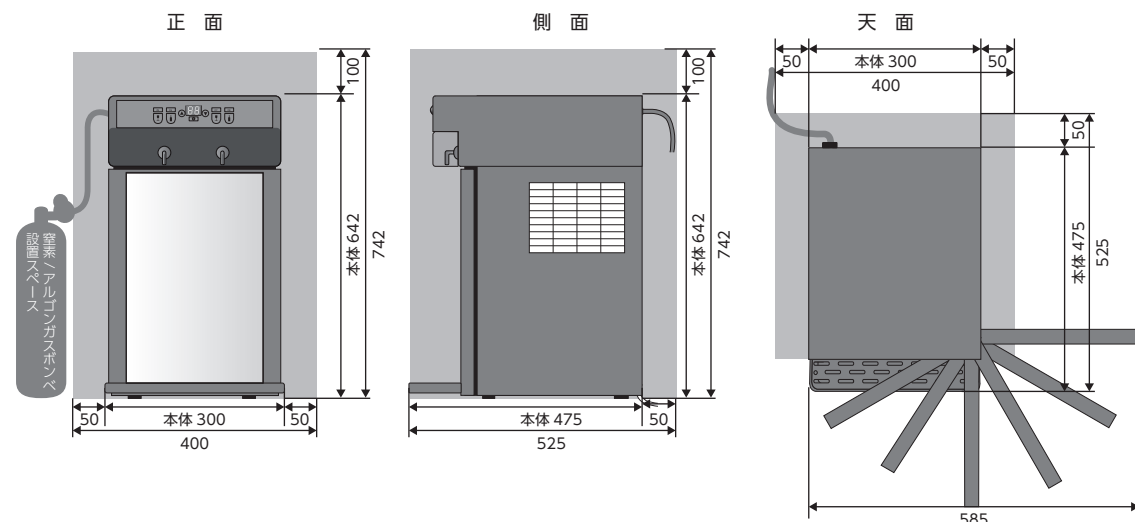


サーバー到着後すぐに損傷が見受けられないか確認して、何らかの損傷が見受けられる場合は、弊社まで速やかに連絡してください。

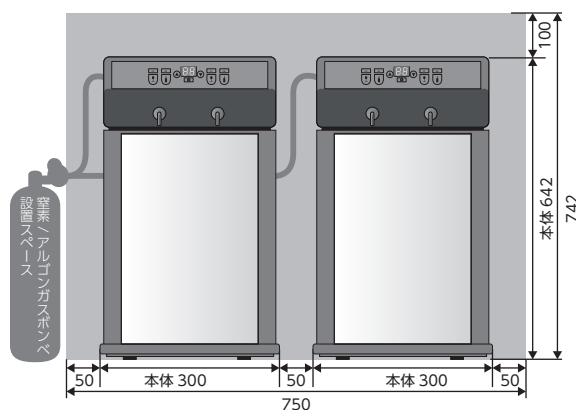


冷却装置が落ち着くまで、設置後1時間電源を入れないでください。

設置寸法 W400×D525×H742 (mm) ■ 放熱スペース



設置寸法 W750×D525×H742 (mm)
2台設置の場合



放熱スペース以外にも
窒素 / アルゴンガスボンベを
設置するスペースも必要です。
※付属ガスホース長さ 1.8m

！ 放熱スペースを確保してください

サーバーの背面には放熱板がついています。
背面は 5cm、その上方にも放熱を妨げるものが無い事を確認して、10cm 以上あげてください。

本体の右：壁から 50mm 以上
本体の左：壁から 50mm 以上
本体の背面：壁から 50mm 以上
本体の天面：100mm 以上あける。

3 お使いになる前に

4本用 (WS4)

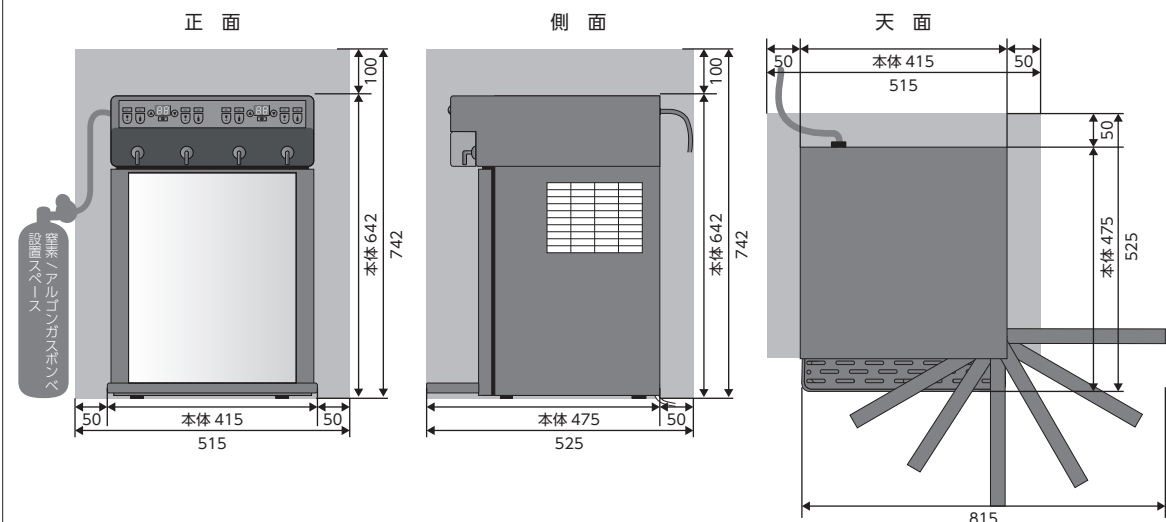


サーバー到着後すぐに損傷が見受けられないか確認して、何らかの損傷が見受けられる場合は、弊社まで速やかに連絡してください。

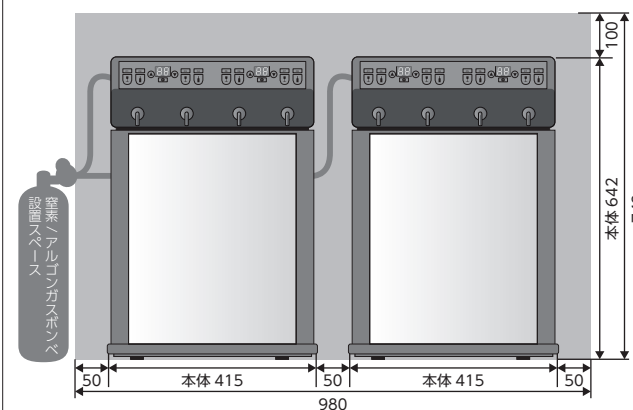


冷却装置が落ち着くまで、設置後1時間電源を入れないでください。

設置寸法 W515×D525×H742 (mm) ■ 放熱スペース



設置寸法 W980×D525×H742 (mm)
2台設置の場合



放熱スペース以外にも
窒素 / アルゴンガスボンベを
設置するスペースも必要です。
※付属ガスホース長さ 1.8m

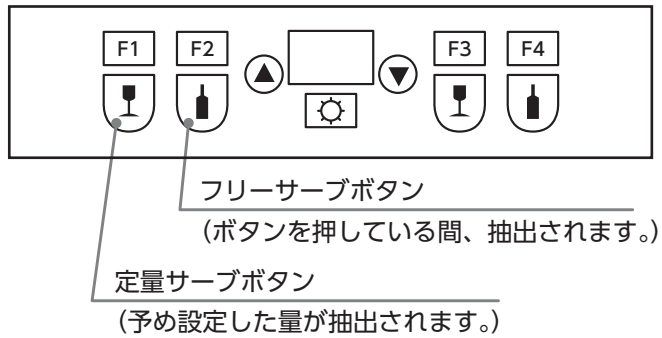
！ 放熱スペースを確保してください

サーバーの背面には放熱板がついています。
背面は 5cm、その上方にも放熱を妨げるものが無い事を確認して、10cm 以上あげてください。

本体の右：壁から 50mm 以上
本体の左：壁から 50mm 以上
本体の背面：壁から 50mm 以上
本体の天面：100mm 以上あける。

コントロールボタンの使用方法

2本用 (WS2)

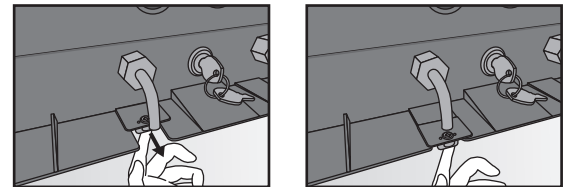


モードについて

⚙️ + F4 を押すたびに、下記の順にモードが切り替わります。

定量サーブのみが有効になったモード	定量サーブボタンが点灯 (フリーサーブモードのロック)
フリーサーブのみが有効になったモード	フリーサーブボタンが点灯 (定量サーブモードのロック)
定量サーブ・フリーサーブが有効になったモード	定量サーブボタン・フリーサーブボタンが点灯
ホースを洗浄するモード	フリーサーブボタンが点滅 (フリーサーブボタンを押している間、抽出)

※ノズル保護用板を手前に引き出すと閉店モードに移行。



上の図はのノズルカバー内。
ノズルカバーの付け外しについては P.13 をご確認ください。

※閉店モード	定量サーブボタン・フリーサーブボタンが消灯 (定量サーブボタン・フリーサーブボタンが使用 不可になり、抽出できなくなります。)
--------	---

温度設定方法

- ⚙️ + ▲ (同時押し) → ディスプレイが点滅。
- ▲ または ▼ を押して、希望の温度を表示。(5℃～18℃の間で設定可能です。)
- ⚙️ を押して設定完了。設定完了時の温度表示は庫内実温度です。
(ボタンを押さずに 5 秒経過しても、ディスプレイの点滅が終わり、設定完了となります。)

定量サーブ設定方法

設定したい量を実際に抽出し、設定します。
水が入ったボトル、計量カップまたは実際に使用するグラスを用意してください。

- 水が入ったボトルを庫内にセットし、フリーサーブボタン をノズルから水が出るまで押します。
- ⚙️ + F1 (同時長押し) → 定量サーブボタン が高速点滅。
- 設定したいノズル上の定量サーブボタン を 1 回押すと、点滅から点灯に変わります。
- 点灯した定量サーブボタン を長押しし、設定したい量を抽出します。
(ボタンを押している時間が本体に記憶されます。数回に分けて押した場合は、合計時間が記憶されます。)
- ⚙️ を押して設定完了。
※ノズルごとにサーブ量の設定をしてください。
※量を間違えた場合は一度設定を終え、最初からやり直してください。設定の途中でキャンセルすることはできません。

定量サーブ量の補正方法

実際に抽出する飲料の粘度によって、設定したサーブ量にならない場合があります。
下記の方法で、サーブ量を補正することができます。

- ⚙️ + F2 (同時長押し) → 定量サーブボタン がゆっくり点滅。
- 補正したいノズル上の定量サーブボタン を一度押すと、ディスプレイに 0 が表示されます。
- ▲ または ▼ を押し、-5 ～ 0 ～ 5 の中で補正したい量の増減を決定します。※初期設定は 0
(数字 1 当たり、0.2 秒の加算)
- ⚙️ を押して設定完了。
※定量サーブ設定を行うと、そのノズルの補正数値は自動的に 0 に戻ります。
※誤って補正設定に入ってしまった場合は、一度設定を終え、最初からやり直してください。

照明について

■照明のモード変更

▲ + ▼ (▼ を押すたびに、下記の順番にモードが変わります。)
「庫内灯のみ」→「庫内灯＋ノズル灯」→「ノズル灯のみ」→「全消灯」
▲ から指を離すと設定完了。

■照明色の変更

F3 + ▲ → F3 から指を離します。
▲ を押すたびに、ディスプレイに 1～3 の数字が表示され、右表の通り、
照明色が切り替わります。
再度、F3 を押すと設定完了。
(ボタンを押さずに 5 秒経過しても、設定完了となります。)
設定完了時の表示は庫内実温度です。

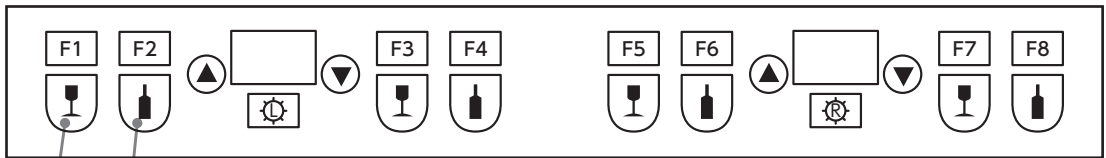
1	暖色
2	白色
3	暖色・白色

■照明の明るさ変更

F3 + ▼ → ディスプレイに『ー』表示 → F3 から指を離します。
▲ ▼ を一度押すごとに、『ー』が上下し、連動して照明の明るさが変わります。
再度、F3 を押すと設定完了。
(ボタンを押さずに 5 秒経過しても、設定完了となります。)
設定完了時の表示は庫内実温度です。

コントロールボタンの使用方法

4本用 (WS4)



フリーサーブボタン

(ボタンを押している間、抽出されます。)

定量サーブボタン

(予め設定した量が抽出されます。)

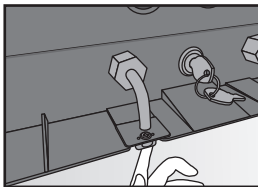
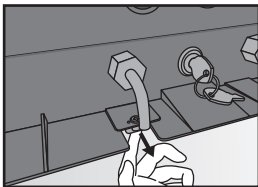
モードについて



+ F4 を押すたびに、下記の順にモードが切り替わります。

定量サーブのみが有効になったモード	定量サーブボタンが点灯 (フリーサーブモードのロック)
フリーサーブのみが有効になったモード	フリーサーブボタンが点灯 (定量サーブモードのロック)
定量サーブ・フリーサーブが有効になったモード	定量サーブボタン・フリーサーブボタンが点灯
ホースを洗浄するモード	フリーサーブボタンが点滅 (フリーサーブボタンを押している間、抽出)

※ノズル保護用板を手前に引き出すと閉店モードに移行。



上の図はのノズルカバー内。

ノズルカバーの付け外しについては P.13 をご確認ください。

※閉店モード

定量サーブボタン・フリーサーブボタンが消灯
(定量サーブボタン・フリーサーブボタンが使用
不可になり、抽出できなくなります。)

温度設定方法

1. + (同時押し) → 左側のディスプレイが点滅。
2. または を押して、希望の温度を表示。(5℃～18℃の間で設定可能です。)
3. を押して設定完了。設定完了時の温度表示は庫内実温度です。
(ボタンを押さずに 5 秒経過しても、ディスプレイの点滅が終わり、設定完了となります。)

定量サーブ設定方法

設定したい量を実際に抽出し、設定します。
水が入ったボトル、計量カップまたは実際に使用するグラスを用意してください。

1. 水が入ったボトルを庫内にセットし、フリーサーブボタン をノズルから水が出るまで押します。
2. 左側 2 箇所は + F1 (同時長押し) → 定量サーブボタン が高速点滅。
右側 2 箇所は + F5 (同時長押し) → 定量サーブボタン が高速点滅。
3. 設定したいノズル上の定量サーブボタン を 1 回押すと、点滅から点灯に変わります。
4. 点灯した定量サーブボタン を長押しし、設定したい量を抽出します。
(ボタンを押している時間が本体に記憶されます。数回に分けて押した場合は、合計時間が記憶されます。)
5. 左側は を押して設定完了。右側は を押して設定完了。
※ノズルごとにサーブ量の設定をしてください。
※量を間違えた場合は一度設定を終え、最初からやり直してください。設定の途中でキャンセルすることはできません。

定量サーブ量の補正方法

実際に抽出する飲料の粘度によって、設定したサーブ量にならない場合があります。
下記の方法で、サーブ量を補正することができます。

1. 左側 2 箇所は + F2 (同時長押し) → 定量サーブボタン がゆっくり点滅。
右側 2 箇所は + F6 (同時長押し) → 定量サーブボタン がゆっくり点滅。
2. 補正したいノズル上の定量サーブボタン を一度押すと、ディスプレイに 0 が表示されます。
3. または を押し、-5 ～ 0 ～ 5 の中で補正したい量の増減を決定します。※初期設定は 0
(数字 1 当たり、0.2 秒の加算)
4. 左側は を押して設定完了。右側は を押して設定完了。
※定量サーブ設定を行うと、そのノズルの補正数値は自動的に 0 に戻ります。
※誤って補正設定に入ってしまった場合は、一度設定を終え、最初からやり直してください。

照明について

■照明のモード変更

左側の + (を押すたびに、下記の順番にモードが変わります。)

「庫内灯のみ」→「庫内灯＋ノズル灯」→「ノズル灯のみ」→「全消灯」

から指を離すと設定完了。

■照明色の変更

左側の F3 + → F3 から指を離します。

を押すたびに、ディスプレイに 1～3 の数字が表示され、右表の通り、
照明色が切り替わります。

再度、F3 を押すと設定完了。
(ボタンを押さずに 5 秒経過しても、設定完了となります。)
設定完了時の表示は庫内実温度です。

1	暖色
2	白色
3	暖色・白色

■照明の明るさ変更

左側の F3 + → ディスプレイに『—』表示 → F3 から指を離します。

を一度押すごとに、『—』が上下し、連動して照明の明るさが変わります。

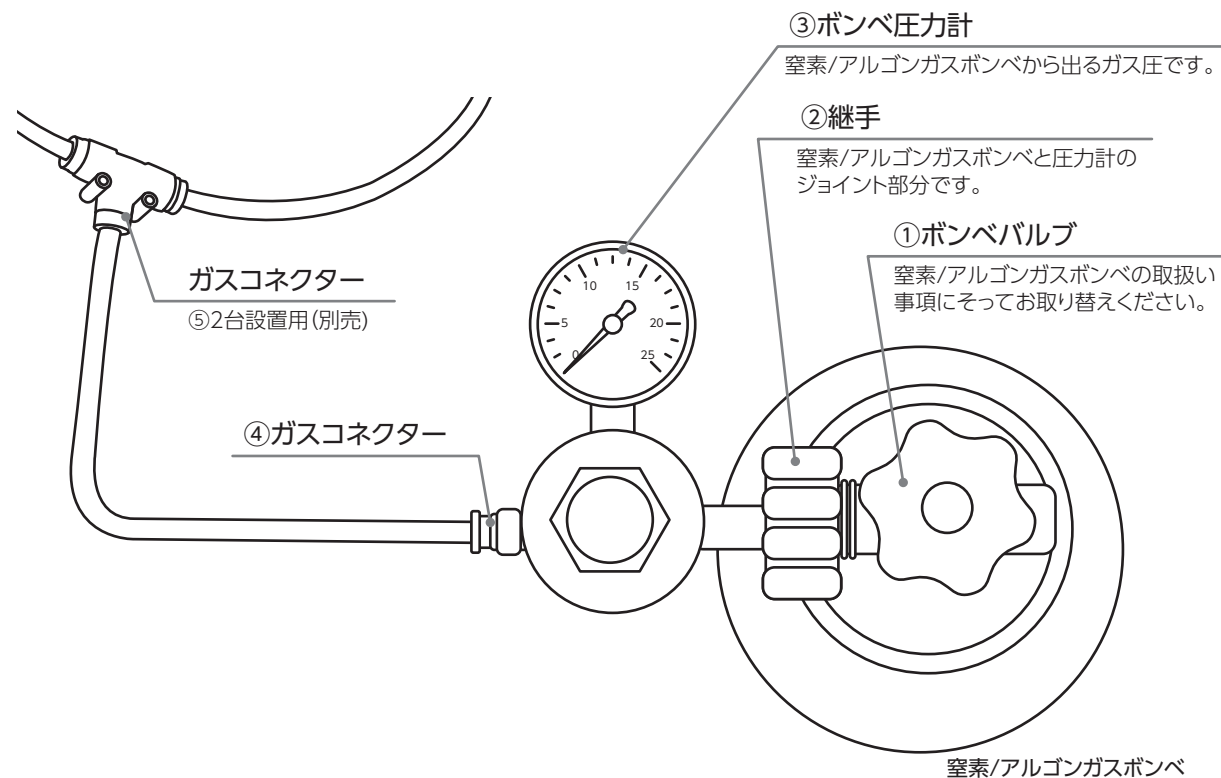
再度、F3 を押すと設定完了。
(ボタンを押さずに 5 秒経過しても、設定完了となります。)
設定完了時の表示は庫内実温度です。

窒素/アルゴンガスボンベ取り付け

ワイン・日本酒は酸素に触れ続けると酸化し、色や香り、味わいが劣化します。ワイナリーなどではワインの品質を長く保つために、窒素やアルゴンガスを用いてワインを空気中の酸素から遮断するのが一般的です。ブリリアント ワイン・Sake サーバーは、注いだ分だけ窒素やアルゴンガスをボトルに加えることで、ワイン等の飲料と酸素を遮断し、酸化の進行を抑えます。



高圧ガス保安法によりガスボンベの固定は義務づけられています。
ガスボンベの設置は、水平な場所にスタンド等でしっかりと固定してください。



窒素/アルゴンガスボンベの取り替え

- ① **ボンベバルブ**を閉めます。
- サーバーに設置しているボトルを1本外し、③ **ボンベ圧力計**が「0」表示になるまでフリーサーブボタンを押し続けてください。
定量サーブモードになっている場合は、モードのロックを解除してください。(P.5 参照)
- ③ **ボンベ圧力計**が「0」表示になってから② **継手**を緩めて圧力調整器を外します。
- 窒素 / アルゴンガスボンベを取り替えます。
- 圧力調整器を取り付け、② **継手**のねじを締めます。
- 窒素 / アルゴンガスボンベの① **ボンベバルブ**を緩めます。ガス漏れがない事確かめます。
抽出ボタンを押さない状態で、ボンベバルブを再度閉め③ **ボンベ圧力計**の針がゆるやかに下がっているときは、ガスが漏れている可能性があります。再度取り付け直してください。

※本体及び同封備品の形状や仕様は変更になる場合がございます。

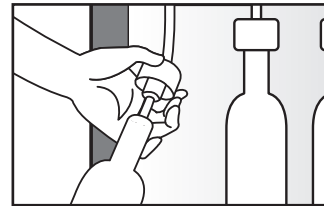
サーバー本体との接続

- サーバー本体のホースを④ **ガスコネクター**につないでください。
- ⑤ **ガスコネクター 2台設置用 (別売)**を使用すると、2台のサーバーをガスボンベ1本で使用することができます。
※ガスコネクターとサーバーのホースは外れないよう取替え時は充分にご確認ください。

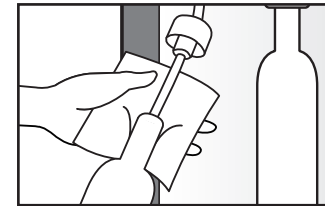
ボトルの交換

(洗浄モードに切り替えて行ってください。※P.5参照)

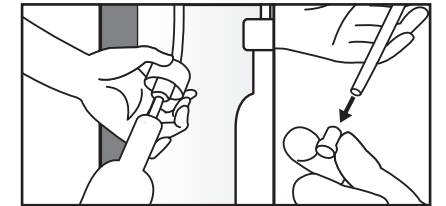
ボトルの交換



ストッパーをしっかりと握ってボトルの口をゆっくりと外します。ボトルキャップを少し外した状態でフリーサーブボタンを押してホース内に残った飲料をボトル内に戻すと液こぼれ防止になります。



ボトル抜き取り時にはホースの液ダレにご注意ください。



空ボトルに温水を入れてセットします。ホース先端のフィルターに澱がついている場合は、温水で洗ってください。フィルターは引っ張ると取り外すことができます。

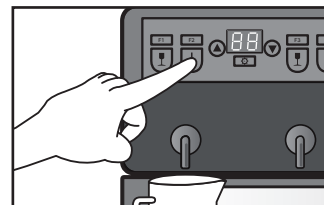
！新しいボトルをセットする前にはテイスティングを行ってください。少し内容量を減らす事でホースを差し込んだ時にワイン等のこぼれ防止にもなります。
1 回目抽出の内容量のブレを防ぐためボトルセット後、フリーサーブボタン等で少しワインを出してノズルの先までお酒を満たしておくと、抽出量のブレ防止になります。

！ボトルが後ろの冷却板に当たらないようにしてください。ワイン等が冷えすぎてしまう場合がございます。

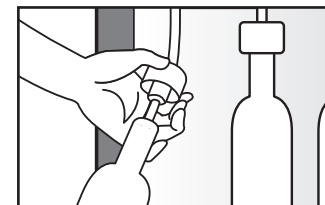
！ホースの長さにご注意



窒素 / アルゴンガス ホース (※細いホース) がワイン等に触れないようにご注意ください。長すぎる場合には、ストッパーの上部からゆっくりと引き上げ、調整してください。

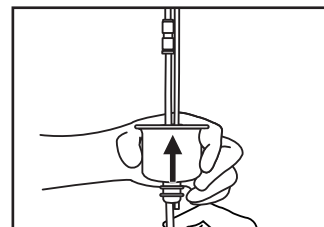


！フリーサーブボタンを数回押して、温水を流し、ホースを洗浄します。

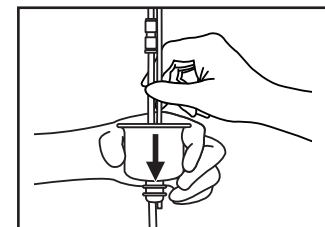


新しいボトルをセットします。ストッパーをしっかりと握って差し込んでください。

高さの異なるボトルへの交換



大きいボトルの場合は、ホースをしっかりと握り、ストッパーを引き上げます。



低いボトルの場合は、ストッパー上部のホースを握ってストッパーを引き下げます。

！ストッパーの位置を変えときは、ホースをしっかりと握ってゆっくりとストッパーを動かしてください。ホースを強く引っ張ると、本体内部の部品が破損する原因となります。また、ワインホース上部の接続部品からホースが外れないようにご注意ください。

！セットしたワイン等の劣化を防ぐために

- ◎サーバーにセットしたばかりのボトル内には、窒素 / アルゴンガスが注入されていません。ワイン等の酸化を防ぐためにフリーサーブボタンで少量を注ぎ出し、窒素 / アルゴンガスを送りこんでください。液面に窒素 / アルゴンガスが充填されます。
- ◎ボトルは庫内奥の壁に接しないように収納してください。ワイン等が凍結する可能性があります。
- ◎製品を作動させる前に庫内等の必要な部分を清掃してください。
- ◎扉は開けたままにしないでください。結露あるいは凍結して故障の原因にもなります。
- ◎新しいボトルに交換する際は、一度水を通し、ホースを洗ってください。(P.11 参照)

長く使っていただくために

！ 定期的なお手入れ

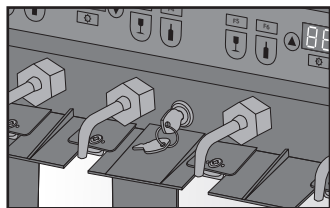
故障や消費電力の無駄を防ぐために定期的に清掃を行ってください。
清掃は必ずサーバーの電源を切ってから行ってください。



ステンレスを劣化させる原因となりますので下記のものは使用しないでください。
化学薬品、ガソリン、漂白剤、殺菌剤、油、酸、研磨剤、腐食剤
◎化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書きにしたがってください。
◎本体や庫内に水をかけないでください。
◎濡れた手で電源を触ったり抜き差ししないでください。

1 注ぎ口（ノズル）

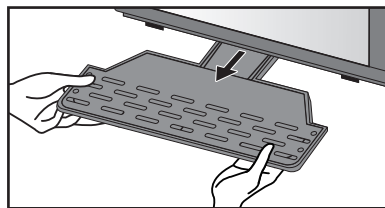
◎注ぎ口には酒石や澱が詰まることがありますので、定期的に清掃してください。



ノズルカバーを外します。ノズル口から線棒などで、酒石や澱を拭き取ってください。

2 ドリフトレー

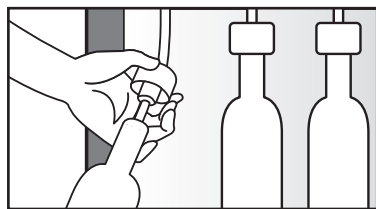
◎ドリフトレーは手前にまっすぐ引くと簡単に取り外すことができます。



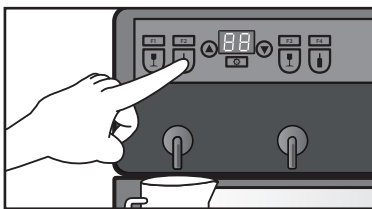
結露により、庫内で発生した水分はドリフトレーへ直接排出されます。
ワイン等が付着、排出が溜まったまま時間が経つと、においや汚れの原因となりますので、定期的に洗浄してください。

3 ホースの洗浄（週に1回程度）

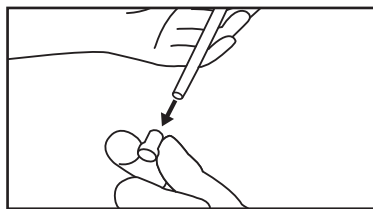
◎ワイン（特に赤ワイン）には澱や酒石（特に白ワイン）があり、ホースが詰まることがあります。ボトルの交換時には必ず洗浄してください。少なくとも週に1回は定期的に清掃してください。ホース先端のフィルターに澱や酒石がついている場合は、温水で洗い流してください。



清潔な空ボトルに温水（約 50℃）を入れてセットします。



洗浄モードに切り替え、 を数回押しして温水を流して洗浄します。
※モード変更方法（P.5 参照）



ホース先端のフィルターは引っ張ると取り外すことができます。

重曹を温水に溶かしてホース洗浄しますと、赤ワインの色移りや澱や酒石の詰まりが解消されます。約 50℃のお湯に重曹（750cc に対し、30～45g）を完全に溶かして、ホースの洗浄を行ってください。ホース内に洗浄水が入った状態で、5 分置くとより効果的です。匂いのある洗浄剤はご使用にならないでください。また、洗浄剤ご使用後は必ず水洗いを数回行ってください。

定期的なお手入れ 次ページに続きます。

！ 定期的なお手入れ 続き

4 給気フィルター手入れ手順

ドリフトレーの奥にある給気フィルター（P.2 参照）を外し、埃をブラシや掃除機で定期的に取り除いてください。汚れがひどい場合は水洗いをし、その後乾燥させて水気を取ってください。清掃終了後は、フィルターを元の位置に戻してください。

6 サーバー庫内・排水口

サーバー庫内のボトル下の板を外し、水や汚れが溜まっていないか確認してください。汚れがある場合は、湿らせた布で清掃してください。水が溜まっている場合は、排水口に詰まりがないか確認してください。

8 電源プラグ・コードの安全点検をする

◎電源コードに亀裂やすり傷がありませんか？
◎電源を外すときに異常な発熱はありませんか？
◎電源プラグにゴミやほこりが付着していませんか？
清掃終了後は、電源プラグをコンセントにしっかりさし込んでください。

5 サーバーの内側面・外側面

本体の電源を切った後、サーバーからボトルを出し、内側面・外側面を布でふき取ってください。あるいは、少量の中性洗剤を混ぜたぬるま湯に浸した布を、固く絞って拭いてください。

7 サーバーの背面（通気口）

サーバーを故障なく長期間ご使用いただくために、ブラシや掃除機で通気口についた埃を定期的に取り除いてください。

9 電源コンセントを入れる

電源を入れて庫内温度が設定温度になってから、ボトルをセットしてください。

こんなときは

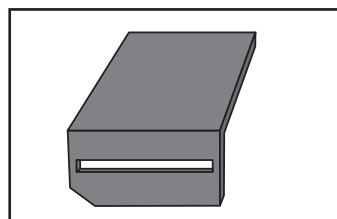
こんなときは	おたしかめください
停電したとき	●庫内温度の上昇を防ぐため、扉の開閉を極力少なくして、黒っぽい布のようなものでガラス扉を覆ってください。 ●氷をたくさん入れた容器を庫内に入れてください。温度の上昇を多少防ぎます。 ●停電時間によってボトルに水滴がつくことがあるので布で拭き取ってください。 ●電源ヒューズやブレーカーが切れたときは、5分以上待ってから主電源を入れなおしてください。
庫内灯が切れたとき	弊社にお問い合わせください。
場所を移動したいとき／ 転居するとき	●移動前にサーバー内のボトルをすべて取り出してください。 ●電源プラグを抜いてください。 ●傾ける時は表面が上を向くように、45°以上傾かないようにしてください。 ●移動時は必ず2人以上で運んでください。 ●このサーバーは 50/60HZ（ヘルツ）共用で日本全国で使用できます。 ●窒素 / アルゴンガスボンベの取り替え手順にしたがって、ボンベと本体を別々に移動してください。（P.9 参照）

！ 長期間使用しない場合

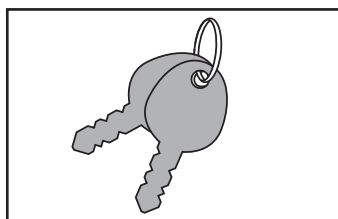
サーバーを長期的に使用しないときは、庫内を空にして電源を切ってください。
臭気、カビの発生を防ぐために内部を完全に清掃した後、しばらくの間、ガラス扉を開放したままにしてください。また、ホース内を必ず水または温水で洗浄してください。洗浄せずに放置した場合、ホース等の部品内部に残ったワインやその他飲料が乾燥し、故障の原因となる場合がございます。

扉のロック方法/ノズルカバーの脱着

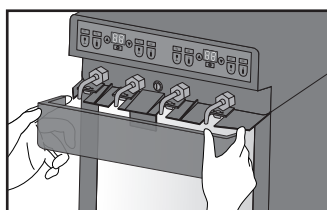
サーバーの扉をロックする場合は、付属の扉ロック用の板と鍵を使用してください。



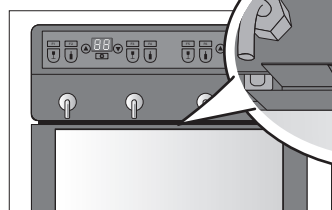
扉ロック用の板



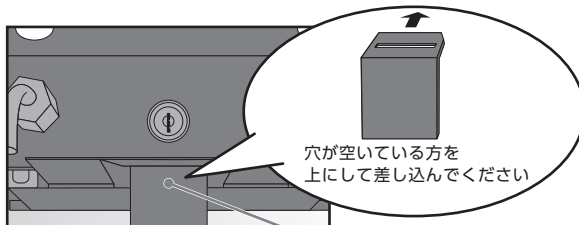
鍵



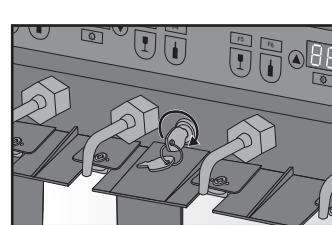
1 ノズルカバーを手前へ水平に引いて外してください。



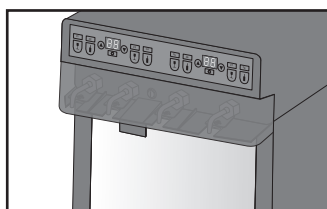
2 扉上側の中央に扉ロック用の板を差し込む溝があります。



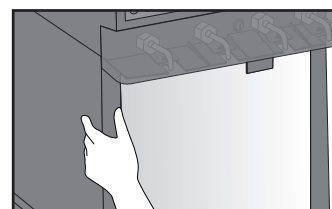
3 溝に扉ロック用の板を奥まで差し込んでください。



4 中央にある鍵穴に鍵を差し込んで右に回してください。

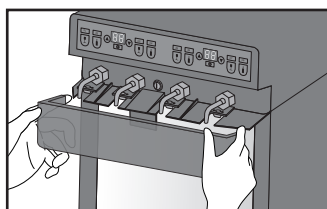


5 鍵を閉めたらノズルカバーを再度取り付けてください。

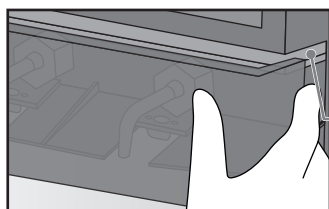


6 扉がロックされているか確認してください。扉がロックされていないと、扉ロック用の板が落下する場合があります。紛失しないよう、ご注意ください。

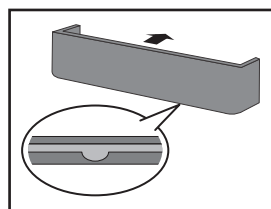
！ノズルカバーの脱着について



外すときは、ノズルカバーを手前へ水平に引いてください。



ノズルカバーを取り付ける時、カバー上部をコントロールボタン部下側の溝に合わせて差し込んでください。



半円の凹みがある方が下側になるように差し込んでください。

故障かな？と思ったら

こんなときは	おたしかめください
サーバーが動かない。 スイッチが入らない。 ボタンの操作ができない。	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでいますか？ ●コードが損傷していませんか？ ●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？ ●停電ではありませんか？ ●閉店モードになっていませんか？（P.5・P.7 参照）
よく冷えない。	●放熱スペースは充分にあけられていますか？ ●通気口付近にほこりやゴミが付着していませんか？詰まっている際は掃除機で吸い出してください。 ●扉を頻繁に開けていませんか？ ●直射日光が当たったり、近くに発熱器具（コンロ・ストーブなど）がありませんか？ ●温度は適正に設定されていますか？
ワインや日本酒等が出ない。 サーブ量が設定とずれる。	●圧力調整器のメーターが 0、になっていませんか？ ●ボンベと本体につながっている窒素ホース等が折れ曲がっていませんか？ ●ノズル・ホースの洗浄不足で澱などが詰まっていませんか？ ●ボトルにキャップがしっかりと入っていますか？ ●ノズルやホース、フィルターにワインの澱や酒石等が詰まっていませんか？（P.11 参照）
ノズルからワインや日本酒等がもれる。	●澱や酒石がホースやノズルに詰まっている可能性があります。水の入ったボトルをセットし、フリーサーブボタンで水を数回流して澱を取り除いてください。（P.11 参照）
使用開始後すぐに ワイン・酒の味が変わった。	●ボトルストッパーが緩んでいませんか？ ●澱や酒石がホースに詰まっていませんか？（P.11 参照）
窒素ガスボンベが非常に早く空になる。	●圧力調整器とボンベがしっかりと適切につながっていますか？ ●圧力調整器とホースがしっかりと適切につながっていますか？
異音をする。	●本体が傾いていませんか？ ●ボトル同士が近づきすぎていませんか？
庫内灯がつかない。	●庫内灯スイッチが入っていますか？（P.5～P.10 参照） ●ライトが故障の場合は弊社へご連絡ください。
コンプレッサーが頻繁に通常より長時間動く。	●扉はしっかりと閉じられていますか？ ●扉が頻繁に開閉されていたり、長時間開けたままになっていたりしませんか？ ●通気口付近にほこりやゴミがたまっていますか？
冷却板に霜がつく。	●扉はピッタリと閉じられていますか？ピッタリと閉まらない場合は、弊社へご連絡ください。 ※空気中には水分があり、冷却板で冷やされることによって若干の霜がつく場合がございますが、故障ではございません。 - ただし、霜が厚くなると冷却力低下の原因になりますので、庫内の設定温度を上げたり、一旦電源を切って、扉を開放するなどして解凍してください。解凍後は、水が多量に溶け出ることがあります。本体やドリップトレイから水が溢れることのないよう、乾いた布で拭き取ってください。

ご注意 このサーバーの使用上のミス又は故障により、ワインその他の飲料の変質が生じても補償致しませんので、運転状態や庫内温度には充分ご注意ください。

安全上のご注意

警告表示の種類と意味

※ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、充分ご理解の上、正しくご使用ください。
※ここに示した注意事項は、ブリリアント ワイン・Sakeサーバーを安全にお使いいただく上で、危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。
※お読みになった後は、次にお使いになる場合にすぐに見られる所へ大切に保管してください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負うまたは死亡する可能性が想定される内容。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容。
表示の例	
 禁止事項 このマークがある行為は禁止事項です。表記のある禁止事項は必ず守ってください。	 必ずして欲しい行為 安全に運転するために「必ずして欲しい行為」を表しています。
 コンセント このマークがある作業をする場合は、必ず電源プラグからコンセントを引き抜いてください。	 アース取り付けマーク 設置時には必ずアースリード線で接地(アース)してください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う、または死亡する可能性が想定される内容。



禁止

■改造は絶対しない。
また、修理技術者以外の人が分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。また異常作動により機能不良の原因になります。



禁止

 ■異常時（こげ・臭い等）は、運転を一時中止して電源プラグを抜き、お問い合わせください。
異常のまま運転を続けると、故障・感電・火災の原因となります。



 ■水気や湿気の多い場所に設置する場合は必ずアースリード線をしてください。
故障や漏電のとき、感電する恐れがあります。



■ガス漏れがあった場合はサーバーやコンセントに手を触れず、窓を開けてよく換気する。
ガスが直接肌に当たると、凍傷の危険があります。
また、吸入して気分が悪い時は医師に連絡してください。



禁止

■火気を近づけないでください
火気を近づけたり、火気の近い所への設置はおやめください。
火のついたろうそく・タバコ・蚊取り線香・熱いやかんなどを置かないでください。
火災や変形の原因になります。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う、または死亡する可能性が想定される内容。



禁止

■可燃スプレーはサーバーの近くで使用しないでください。
引火、やけどの危険があります。



禁止

■ベンジン、接着剤、シンナー、工業用アルコール、LP ガスなど引火しやすいものは入れないでください。
爆発する危険があります。



禁止

■上に重量物や水の入った容器を置かないでください。
扉の開閉により落ちるとけがの原因となります。又こぼれた水等で電気絶縁が悪くなり、漏電や火災の原因となります。



禁止

■水をかけたり、水がかかる場所では使用しないでください。
電気部品に水がかかるとショート、感電の原因となります。



■交流 100V 専用コンセントを使用してください。
それ以外のものを使うと火災、感電の原因となります。



■コンセントは専用の15A以上のものを単独で使ってください。
他の器具と併用したタコ足配線は、本体装置に異常が発生し発火することがあります。



■電源プラグはほこりを取り、コンセントは根元までしっかり差し込んでください。
電源プラグのほこりは発熱、発火の原因となります。



禁止

■電源コードはサーバー等で押しつけたり傷つけないでください。
プラグの変形や傷は発熱、発火の原因となります。踏みつけたり加工したりすると、漏電、感電や発火の原因となります。



禁止

■電源コードやプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。
感電、ショート、発火の原因となります。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。



禁止

■延長コードは使用しないでください。

感電、ショート、発火の原因となります。



■電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。

感電、ショート、発火の原因となります。



■長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化などにより感電や漏電、火災の原因となることがあります。



■電源プラグを抜いた時は、すぐに差し込まない。

電源プラグを抜いた時やブレーカーが切れた時は、5～10分程度待ってから差し込んでください。すぐに差し込むとコントローラーや駆動機器に負担がかかり故障の原因となります。



■電源コードが損傷している場合はコード交換を弊社まで申し付けください。



禁止

■背面側放熱板、下部の圧縮機に手を触れないでください。

やけどの恐れがあります。

！ 窒素 / アルゴンガスホースの長さにご注意ください。



■次の場所で使う時は、必ずアースおよび漏電しゃ断器を取り付けてください。

- 地下室など湿気の多い所
- 土間やコンクリートの床など湿気の多い所
- 洗い場など、水がかかりやすい所



■床が丈夫で水平な所に据え付けてください。

不安定な所で据え付けると、転倒してけがをする原因となります。



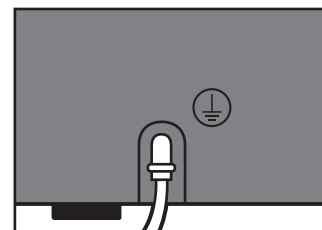
禁止

■ガラス扉に衝撃を与えない。

ワインボトル等をぶつけて衝撃を与えると割れるおそれがあります。特にボトルの出し入れには充分ご注意ください。



■ ご注意 サーバーの誤った使用又は故障により、ワイン等その他の飲料の変質が生じても保障致しませんので、運転状態や庫内温度には充分ご注意ください。



アースリードは、背面の左下にあります。

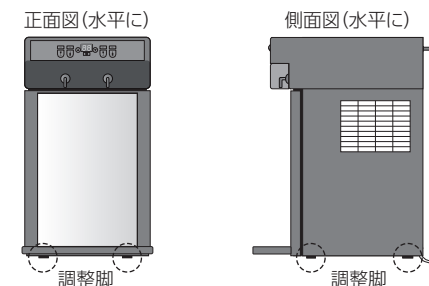
注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。

据え付け（設置についてのご注意）

不安定な床への設置は振動や騒音の原因となり、扉を開いた時にボトルが転がり落ちる危険性があります。

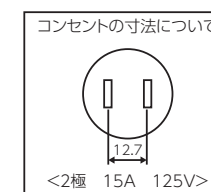
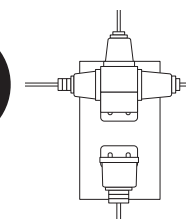
- 水平設置するために調整が必要なときはサーバーの前後左右の調整脚で行ってください。
- じゅうたん、畳、塩化ビニール製の床材などの上に設置するときは下に厚板などの固いものを敷いてください。



- 製品にあった電源回路容量を確保してください。
- 電源プラグは国内AC100Vのコンセントに単独で差し込んでください。



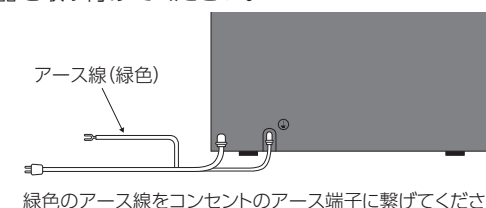
禁止



●アース線について

次の場所で使う時は、必ずアースおよび漏電しゃ断器を取り付けてください。

- ・地下室などの湿気が多い所
- ・土間やコンクリートの床など湿気が多い所
- ・洗い場など、水がかかりやすい所

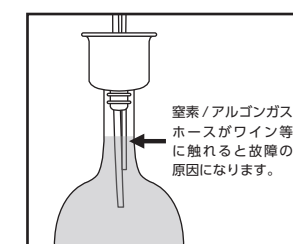


緑色のアース線をコンセントのアース端子に繋げてください。

- サーバーを設置する理想的な室内環境の温度は10℃～30℃です。ヒーターでの温度制御機能は付いていません。室内環境より上の温度(10℃～30℃)に設定しても、庫内温度は変わりません。
- 直接日光が当たる場所や暖房器具のそばに置かないでください。
- 放熱の可能性がある器具(トースター、電子レンジ等)をサーバーの上に置かないでください。
- 設置場所を変更する際は45°以上サーバーが傾かないように気をつけて、必ず二人以上で運んでください。なお、傾ける時は扉が上を向くようにしてください。
- 高圧ガス保安法によりガスボンベの固定は義務づけられています。ガスボンベの設置は、水平な場所に架台等でしっかりと固定してください。

！ 設置後 1 時間おいてから通電してください。

サーバー到着後は冷媒を落ち着かせるため、設置後1時間程度時間をあけてから通電してください。電源プラグを抜いたときはすぐに差し込まず、5分程度待ってください。ご家庭の電源ヒューズやブレーカーが作動したときも同様に、5分程度待ってから電源を入れ直してください。



！ 窒素 / アルゴンガスホースの長さにご注意ください。

窒素/アルゴンガスホース(短いホース)が液面に触れないようにご注意ください。故障の原因となります。

窒素/アルゴンガスホース(短いホース)が長すぎる場合には、ストッパーの上部からゆっくりと引き上げ、調整してください。(P.10 参照)

保証とアフターサービス

保証書

裏表紙の保証書に販売店より記入を受けるか、販売店より発行される「お買い上げ日・販売店名」が確かめられる書類と一緒に大切に保管してください。

保証期間

保証期間 お買い上げ日より 1 年間

※保証期間内でも有償になることがありますので、取扱説明書・無償修理規定をよくお読みください。

修理について

下記無償修理規定に従って修理させていただきます。

保証期間を過ぎた後、修理可能なサーバーについては、有償で修理対応いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年です。補修用性能部品とは、本製品の機能を維持するための部品です。

●故障の状況やその他事情により、修理に代えて製品を交換する場合があります。

●修理に際して、再生部品や代替部品を使用する場合があります。

廃棄する場合

弊社までお問い合わせください。

冷媒について

このサーバーで使用されている冷媒は、代替フロンガス R-134a です。冷媒回路に密閉されていますので、通常はもれ出すことはありません。

※日本では家電リサイクル法に基づき、リサイクル処理時に全台数の冷媒を回収して地球温暖化の影響を防いでいます。

無償修理規定

1. 取扱説明書の注意書に従った適切な使用状態で故障した場合には、弊社が無償修理致します。
2. 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合は、お買い上げの販売店保証期間内、もしくは弊社にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 保証期間内でも次に示すものに該当する不具合または起因する不具合は保証修理の対象となりません。
 - 使用者による十分な洗浄などお手入れがなされていない場合
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の設置場所の移動、落下等による故障及び損傷
 - ほこり、ねずみ、昆虫類の侵入、火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - 車両、船舶に搭載・使用された場合の故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名の記入がなく、製品のご購入を確かめられるレシートなどの書類がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 次に示す費用または損害は、弊社の負担となりません。
 - 一般に品質、機能上影響のない軽微な感覚的現象（音、振動等）
 - 消耗品の交換、修理および補充費用
 - 点検、清掃、整備のための費用
 - 弊社が手配した業者以外での修理
 - 電話代等の修理に付随する費用
 - 休業補償および本製品を使用できなかったことによる損害
 - 本製品の不具合により、ワインやその他の飲料に変質があった場合の損害
6. 本製品の不具合によりワインやその他の飲料に変質があった場合も、収納しているワインやその他の飲料の補償は致しませんので、稼働状態、庫内温度には充分にお気を付けください。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
8. 本書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は弊社にお問い合わせください。